



京都府南部地域 聴覚障害のある児童生徒に関わる担当者向け研修会 報告

日 時 平成30年8月1日(水) 13:30~16:30
場 所 京都府スーパーサポートセンター SSC ラボ・聴覚サークルーム
内 容 講義「聴覚障害児童生徒の理解と支援」聴覚支援担当 増森紗弥加
施設(防音室)見学
情報交流「日々の教育活動における配慮の在り方について」
指導助言 山城教育局 指導主事 森 環 氏

京都府南部地域の通常の学級に在籍する聴覚障害のある児童生徒に関わっておられる担任・コーディネーター・養護教諭の先生6名に参加していただきました。

講義では、きこえと難聴について、難聴の困難さについて、指導場面での支援のありかたについての話をしました。実際にイヤーマフを装着した難聴体験や劣化音声による疑似難聴体験、補聴器装用体験も行い、日々関わっておられる児童生徒のきこえ方について体験できるような内容もありました。

施設見学では、児童生徒の聴力測定を行っている部屋を実際に見て、どのような測定を行っているのか防音室に入って体験していただきました。

情報交流では、各校での児童生徒の様子や課題、取り組まれている配慮について共有することができました。注意喚起や言葉、構文指導などそれぞれの先生方で悩まれていることや実践を交流でき、今後の教育活動に活かしていただけそうなよい交流の場になったと思います。

また、指導助言から、新学習指導要領における特別支援教育の位置づけ、山城地域の特別支援教育の現状、緊急時の安全確保のための準備の大切さ、一人一人の課題に寄り添った教育が求められていること等、多岐の内容についてお話をお聞きすることができました。



【参加者の感想】

とてもわかりやすくよく理解することができました。子どもの聞こえにくさは想像以上でした。気づかない場面で苦労しているのだろうと実感しました。

体験的な内容が特に良かったです。自分の耳に補聴器をつけたことはなかったので、良い経験になりました。「さかな」が「なかな」のようになるわけも良く理解でき、子どもの理解が進みました。

他校で取り組んでおられることなどがわかり大変参考になりました。少人数で交流しやすかったです。

日々、いろんな学校での工夫や苦労を共有できてよかったです。